

株式会社 IMAGICA TV 番組審議会議事録 2013 年 10 月 21 日開催分

- 開催日： 2013 年 10 月 21 日(月) 13:30～15:00
- 開催場所： 株式会社 IMAGICA TV 会議室
- 委員の出席： 委員の総数 8 名
出席委員数 7 名
- 出席者： 審議員：池ノ辺直子、音好宏、川上エリカ、草場滋、高寺重徳、
富澤一誠、湯浅正敏（以上 50 音順、敬称略）
事業者：木戸英晶、伊藤明、栗林絹江、清正徹、原田俊英、井田勇、
野村憲一、齋宏伸（記）
- 審議： 「イマジカ BS」、「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に関する審議

■ 「イマジカ BS」の編成及び、海外ドラマシリーズ「ハウス・オブ・カード 欲望の階段」の第 1 章と第 2 章について、各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 「ハウス・オブ・カード」は作品としては面白い、どうやって加入を導くことができるのかがポイント。
米国のネット配信でこういう作品が出るようになってきた。今後 8K 等がオリンピックへ向けて出てくると思うが、受信するものがどうなっていくのかのかも問題。その中で、イマジカ BS をどのようにしていくのかが課題。
- ・ フランス映画などを観るチャンスが少なくなっている中で、イマジカ BS はいい映画、良質な映画、単館系の作品などをちゃんと放送することは重要。
映像を観る媒体がどこに帰着するのかは、イマジカ BS のコンセプトなども考えた場合、ハードな問題だと思う。
- ・ 「ハウス・オブ・カード」は大人らしいなと感じた。ハードなアクションが特徴的な海外ドラマシリーズ等が出た後に、このような大人の作品がエミー賞で受賞するというのは、チャレンジングだと感じた。分かりやすい娯楽性とは異なる玄人好みの作品。
- ・ 洋画離れと言われる中、昔の映画はこんなに面白いという道筋を、若い人にも興味を持ってもらう仕掛けが必要。
- ・ 「ハウス・オブ・カード」は、エミー賞で監督賞を受賞したのだから、もっと大きく打ち出してもいいのではないかと。普段観ない人に訴求するいい機会。
内容も倍返しにのダークヒーロー、ハリウッドな脚本で分かりやすい展開。

いい買い付けだったと思う。

- ・ 欧州系、新しい作品などに挑戦していることをもっとアピールしても良い。
「ハウス・オブ・カード」は以外と難しい作品だと思う。これって何なのか？ジャンルなどをキチンと伝え、分かりやすくすること。もっとキャッチが必要。）
- ・ 007を集めた企画は、年代の幅もあり、50周年や22作品ということもあり、他短期的な展開ではなく、一定期間の継続的な取り組みとなったので、そういうことが必要ではないか。
- ・ 「ハウス・オブ・カード」は、女性の出演シーンなどで、(今までの作品の中で)好意的に観ることができたが、ドラッグに関連するシーンは不快に感じた。
- ・ イマジカ BS は名作揃いのチャンネルだと思う。名作をそろえていることで、加入したいchとして誘導することがいいのではないか。
- ・ 古いものの発掘、新しいものの発見がポイント。

■ 「歌謡ポップスチャンネル」オリジナル番組「水森かおり歌で旅するコンサート」7月放送、「クラブ コロッセ〜六本木で歌いましょう〜」8月放送について、各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 「水森かおり歌で旅するコンサート」は、ファンの声が多く、視聴者目線の印象。以前の番組よりファンとの交流などを感じた。
- ・ 「クラブ コロッセ〜六本木で歌いましょう〜」は、いつもより緊張している印象、ギター演奏者の画面の位置が気になった。
- ・ 水森かおりさんは、ご当地ソングの女王と呼ばれているが、興味を引き付ける工夫がほしかった。はじめて観る人々への道筋を考えてもらいたかった。
- ・ 「クラブ コロッセ〜六本木で歌いましょう〜」は、ゲストへのリスペクトが感じられたし、定番だけでなく、開発中のネタを観ることができて良かった。
秘話が語られるところも、ホスト役としての力を感じさせるものだった。
- ・ 「水森かおり歌で旅するコンサート」は、演出のメリハリがもっとあっても良かった。単調な設定になっているので、惹きつける何かほしい。
- ・ 「クラブ コロッセ〜六本木で歌いましょう〜」は、楽しく観ることができた。ライブ感や楽屋ウラが感じられ好感をもった。
- ・ 40代上の人口が7000万人以上となり、他局の歌謡番組も60代、70代の観たいTVで高いレートになっている。
- ・ 「水森かおり歌で旅するコンサート」は歌詞を出してほしい。
ご当地ソングの背景となるような、なぜその土地を選んだのか？何をテーマに歌うのかといったことなどを、もっと掘り下げてほしかった。
- ・ 「クラブ コロッセ〜六本木で歌いましょう〜」はスタッフを含めて、楽しさ、雰囲気よさを感じる。トークでの秘話も良かった。

- ・ リクエストなどで、特集を組んでいくのはどうかと感じた。
- ・ 知らない人にも伝えるところ、歴史や背景など、知的好奇心を刺激することも重要。

■全般的な意見交換

チャンネル全般について、各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 情報が多い中で、番組をどのようにして観てもらえるのかが課題。
以前 007 の企画では、「7 がつく日」ということを訴求した。他局では曜日ごとにドラマのジャンル訴求を設定するなど、より観てもらうための工夫を行っている。
- ・ 以前 007 の企画では、作品の歴史などを踏まえてうまく届けた手法だったと思う。作品へのリスペクト、発掘や発見などを視聴者へ伝えていくことが重要。
- ・ 編成では、差別化やレコメンドをどのように伝えるのか、作品の価値をキチンと伝えられるのかどうか、ブランドを築くために必要だと考えている。

報告事項：当社編成・制作局長より、イマジカ BS の総務省届出のチャンネル名称変更に関する検討について説明を行った。

2013 年 7 月～9 月における「イマジカ BS」、「歌謡ポップスチャンネル」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成・制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

連絡事項：次回番組審議会は、2013 年 1 月 24 日開催予定。

以上